



2021年11月 1 日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代表者名 代表取締役 武内 博文
(コード番号：4579)
問合せ先 管理・経営企画部門長 須藤 正樹
(TEL. 052-446-6100)

あすか製薬株式会社との共同研究契約締結のお知らせ

当社は、あすか製薬株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：山口 惣大）との間で実施しておりました、特定のイオンチャネルを標的とした創薬研究に関する共同研究につきまして、本日開催の取締役会にて、これまでに得られた成果を活用して新薬の創出に取り組む新たな共同研究契約（以下「本契約」）を締結することを決議しましたので、お知らせいたします。なお、本契約締結は、東京証券取引所の規則に定める適時開示には該当いたしません、有用な情報と判断したため、任意開示いたします。

両社は今後、創薬研究に関する独自の技術ノウハウを組み合わせ、成果の創出に尽力いたします。詳細は別紙の共同プレスリリースのとおりです。

なお、本件による2021年12月期（2021年1月1日～2021年12月31日）の通期業績予想の変更はありません。

以 上

News Release

2021年11月1日
ラクオリア創薬株式会社
あすか製薬株式会社

各 位

ラクオリア創薬とあすか製薬の共同研究契約締結のお知らせ

ラクオリア創薬株式会社(本社:愛知県名古屋市、代表取締役社長:武内 博文、以下「ラクオリア創薬」とあすか製薬株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:山口 惣大、以下「あすか製薬」)は、両社が実施中の、特定のイオンチャネル[※]を標的とした創薬研究に関する共同研究(以下「本共同研究」)につきまして、これまでに得られた成果を活用して新薬の創出に取り組む新たな共同研究契約(以下「本契約」)を締結しましたのでお知らせいたします。

ラクオリア創薬とあすか製薬は、新薬の創出を目指し、2019年7月より本共同研究を進めてまいりました。本年7月13日にお知らせしたとおり、当初の契約に定められた基準を満たす研究成果(以下「本研究成果」)が認められたことから、あすか製薬はラクオリア創薬にマイルストーン達成に伴う一時金を支払いました。その後、本研究成果を用いた発展的な共同研究の実施について両社で協議を進め、次段階の共同研究計画について合意に達したことから、本契約の締結に至りました。

本契約の締結に伴い、あすか製薬はラクオリア創薬に契約一時金並びに研究協力金を支払います。ラクオリア創薬はまた、本共同研究の一定の成果に応じてマイルストーン達成に伴う一時金を受け取る権利を得ます。具体的な達成条件や金額等につきましては、契約上、非開示とさせていただきます。

ラクオリア創薬代表取締役社長である武内博文は、「当社とあすか製薬との共同研究が新たな段階に進むことを大変嬉しく思っています。当社は今後もあすか製薬と協力し、当社の創薬技術を活かして共同研究に取り組み、いまだ満たされない医療ニーズを充足する画期的な医薬品を医療現場に届けることに貢献したいと考えております。」と述べ、あすか製薬代表取締役社長 山口惣大は、「ラクオリア創薬との共同研究が新たな段階に進み、大変嬉しく思っています。両社の協力により生み出される医薬品が、アンメットメディカルニーズの解消につながることを期待しております。」とコメントしております。

両社は今後も引き続き、創薬研究に関する独自の技術ノウハウを組み合わせ、成果の創出に尽力してまいります。

以 上

ラクオリア創薬株式会社について

ラクオリア創薬は、名古屋市に研究拠点を有し、最先端の生命科学技術を活用し、医療分野においてニーズの高い疾患領域での新たな医薬品を生み出す「グローバル創薬イノベーター」を目指す、研究開発型のベンチャー企業です。独自のオープン・イノベーションから革新的な新薬の種となる低分子化合物医薬を創り出し、製薬会社等と共同研究あるいはライセンスアウト(知的財産権の使用許諾契約)により、真に価値ある新たな治療薬を患者さまに届けることをその使命としています。ラクオリア創薬株式会社の詳細は <https://www.raqualia.co.jp> をご覧ください。

あすか製薬株式会社について

1920年の創立以来、「先端の創薬を通じて、人々の健康と明日の医療に貢献する」との経営理念のもと内科・産婦人科・泌尿器科の重点 3 領域に経営資源を集中させ、新薬を中心とした医薬品の開発を積極的に進め、医療ニーズ解決に努めています。詳細については <https://www.aska-pharma.co.jp/> をご覧ください。

【ご参考】

※イオンチャネルについて

イオンチャネルとは、細胞の内外へイオンを透過させる膜タンパク質の総称です。

神経のシグナル伝達、筋肉の収縮、ホルモンの分泌などの様々な生理現象にイオンチャネルが深く関わっており、イオンチャネルの制御によって幅広い疾患を治療できる可能性があります。

本件に関するお問い合わせ先

| | |
|--|--|
| ラクオリア創薬株式会社 | あすか製薬株式会社 |
| 経営企画部 | 経営企画部 |
| 電話: 052-446-6100(代表) | 電話: 03-5484-8366 |
| E-mail: ask@raqualia.com | E-mail: kouhou@aska-pharma.co.jp |